



仙台市の市政と財政状況

令和7年10月

 仙台市IR資料

目次

1 仙台市の概要とまちづくり

仙台市の概要	2
仙台市の観光	3
防災環境都市・仙台	4
仙台らしいダイバーシティまちづくり	5

脱炭素・資源循環型社会への取り組み	6
トピックス①青葉山エリア複合施設の整備を進めています！	7
トピックス②仙台市役所本庁舎周辺エリアを整備します！	8

2 グリーンボンドの発行

グリーンボンドの発行	10
グリーンボンド充当事業	11

令和7年度グリーンボンド発行概要	14
------------------	----

3 予算・決算の状況、財政指標

令和7年度当初予算の概要及び施策体系	16
一般会計当初予算の推移	17
復旧・復興事業の概算事業費	18
一般会計歳入・歳出（性質別）決算の推移	19
実質収支・プライマリーバランスの状況（普通会計決算）	21
令和5年度特別会計・企業会計決算の概要	23

健全化判断比率・資金不足比率	25
財政力指数・経常収支比率等	26
市債の状況	27
一般会計公債費の推移	29
基金の状況	30

4 行財政改革、財政見通し等

仙台市役所経営プラン	34
仙台市公共施設総合マネジメントプラン	35

今後の財政見通し（普通会計ベース）	36
令和7年度市場公募地方債発行計画	37



1

仙台市のまちづくり

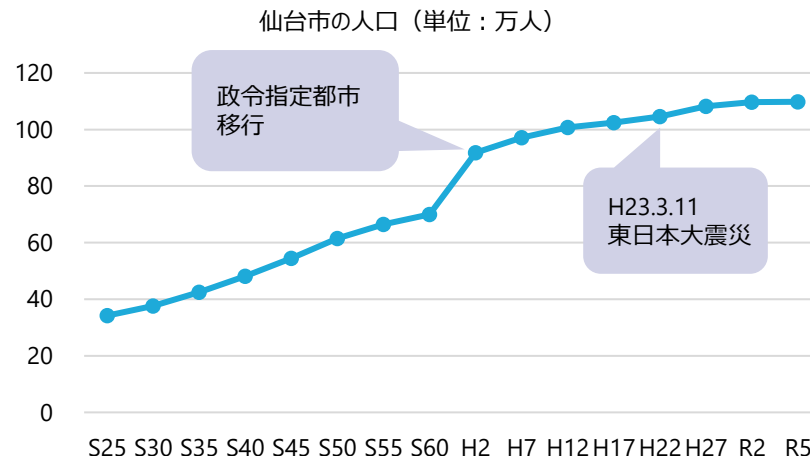
仙台市の概要

- 仙台市は、東北地方の中核都市として、官公庁や多くの企業の支店が集積しており、充実した都市機能と利便性を備えています。
- 多くの大学や研究機関が集まる「学都」としての強みを活かし、活発な産学官連携に取り組んでいます。

豊富な若手人材の集積

人口	約110万人	(令和7年6月1日現在推計人口)
世帯数	約55万世帯	(令和7年6月1日現在推計人口)
面積	786.35km ²	

- 仙台市民のうち20～30代の人口は約25万人（全体の24%）
- 生産年齢人口（15～64歳）の割合は63%
主要都市の中でも割合が高く、**若手の力が集う都市**
- 仙台都市圏の高等教育機関は109校、全学生数は約79,000人
大学・大学院は14校あり、学術・研究の拠点となっている
多くの学生が集う「学都」として発展

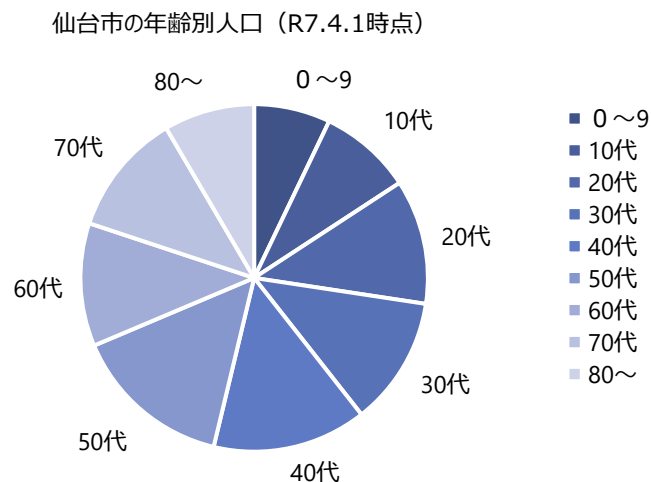


東北の経済拠点

市内総生産	【名目】5兆90億円（前年度差△517億円） 【実質】4兆9,316億円（前年度差671億円）
経済成長率	【名目】△1.0% 【実質】+1.4%
市民所得	3兆3,423億円（1人当たり 304.1万円）

令和4年度市民経済計算

- 東北の都市機能が仙台市に集中しており、宮城県の域内総生産のうち約半分を仙台市で生み出している
- 2024年度に運用開始した次世代放射光施設「ナノテラス」をはじめとして、**高度な研究開発・産業集積の基盤**がある
- 東京までは最短90分と、首都圏との**良好なアクセス環境**があるほか、仙台空港からは国内8都市、海外7都市を結ぶ空路が結節



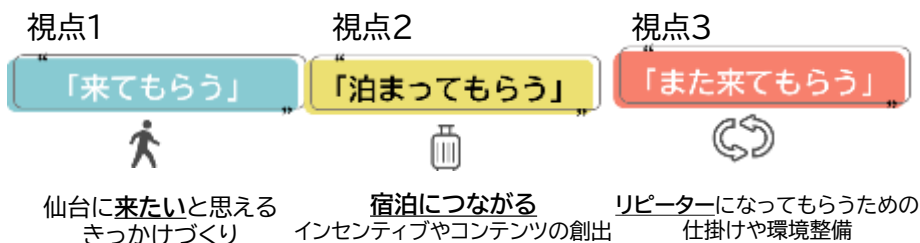
仙台市の観光

- 仙台市には多種多様な観光資源が存在し、令和6年の年間宿泊者数は650万人を超え過去最高となりました。
- 世界から選ばれる観光都市を目指し、魅力的なコンテンツの創出や強化、インバウンドへのプロモーションなど、観光施策に力を入れています。

仙台市観光戦略2027 ~into a new era~

これまでのイメージを超えた、観光を基軸とした成長を目指し策定

3つの視点



6つの重点プロジェクト



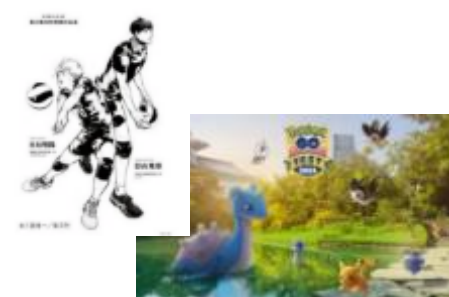
宿泊税の導入による観光施策の強化

宿泊税収	約10億円
税収の 活用方法	- 旅行者を呼び込むための観光コンテンツ造成 - 宿泊、連泊を促進するための誘客強化 - 観光の基盤である宿泊事業者への支援
導入時期	令和8年1月

主な観光施策



ナイトイベントの長期開催や常設化に向けた支援を行うとともに、大規模イベントの開催や周遊につながるナイトコンテンツの造成を促進し、来訪者の増加や宿泊につながります。



仙台ゆかりの漫画・アニメなどの国内外への発信力を最大限に活用し、ファンや旅行者が楽しめる企画や、仙台を訪れる誘因となるコンテンツの集積を進めます。



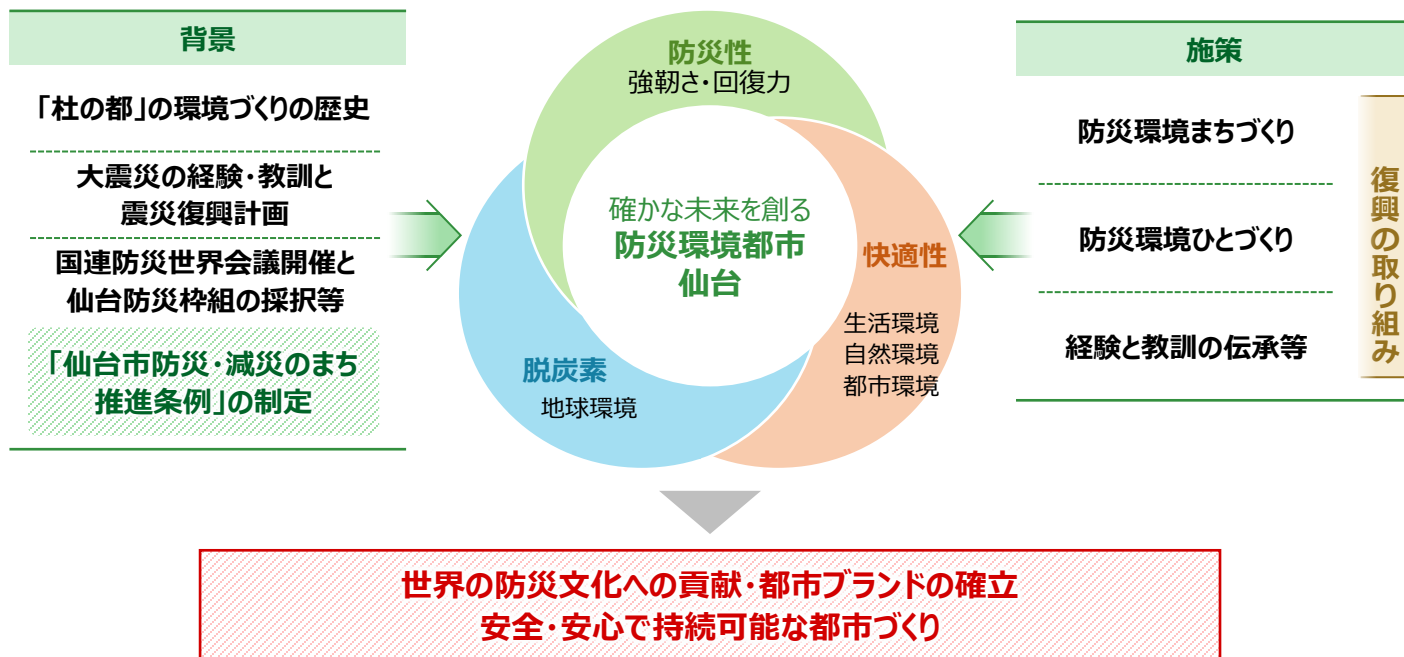
欧米豪・韓国・香港など、新たな市場も含めた戦略的なプロモーションを行い、仙台・東北を訪れる外国人観光客の増大を図ります。



都市と自然が近接する特長を活かし、自然体験型コンテンツや受入環境の整備を進め、仙台観光の多様性をはぐくむことでリピーター獲得を図ります。

防災環境都市・仙台

- 「防災環境都市」づくりは、杜の都の豊かな環境を基礎とし、東日本大震災の経験や教訓を踏まえた快適で防災力の高い都市を創造するとともに、都市ブランドとして磨き上げていくことを目指すものです。



仙台防災枠組2015-2030

- 2015年、仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、東日本大震災の経験と教訓が取り入れられた「**仙台防災枠組2015-2030**」が採択されました。
- 2023年、「仙台防災枠組2015-2030」が折り返しを迎えたことから、東北大学災害科学国際研究所と連携し、本市独自の評価・分析をする中間評価を行いました。自治体としての中間評価は世界初の試みです。

MCR2030レジリエンス・ハブ

- 2024年、国連防災機関から国内初となる「MCR2030レジリエンス・ハブ」※に認定されました。

※ 防災・減災の取り組みや都市の強靱性において実績を持ち、他の都市に知見を共有し、支援する役割を担う都市。

2024年アジア太平洋防災閣僚級会議（フィリピン）における認定証授与式の様子▶

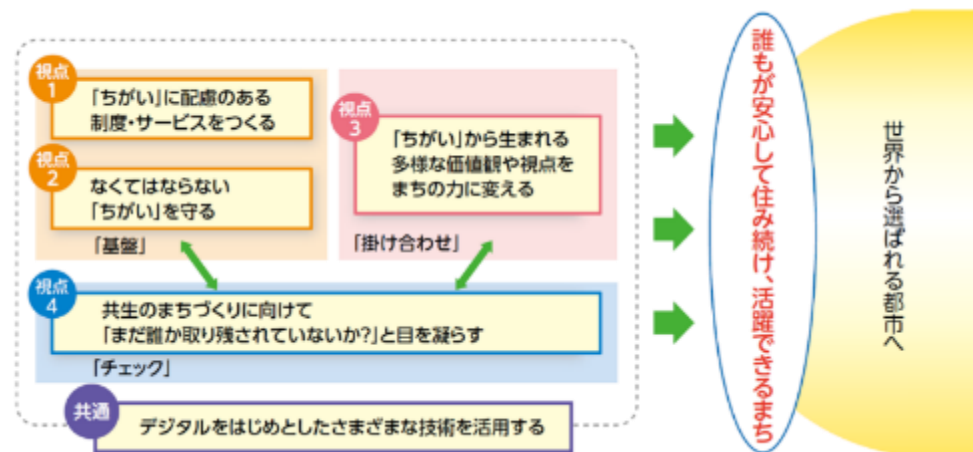


仙台らしいダイバーシティまちづくり

- 仙台市では、誰もが安心して住み続け、活躍できるまちを目指して「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を進めています。

仙台市ダイバーシティ推進指針

- 仙台市は、全国に先駆けたバリアフリーまちづくりや、多様な主体の参画による防災・減災の取り組みなど、多様性を尊重したまちづくりを進めてきました。
- この歴史・文化・都市個性を尊重しながら仙台にふさわしい多様で調和のとれたまちを目指して実践を重ねる、「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を推進しています。
- まちづくりを進めるにあたり盛り込むべきダイバーシティの視点などを取りまとめたものが「仙台市ダイバーシティ推進指針」です。
- 推進指針では取り組みの視点として右図のとおり、4つの視点とデジタルをはじめとした技術の活用を掲げています。



ダイバーシティ推進事業

- ダイバーシティへの理解促進やダイバーシティまちづくりに向けた機運を醸成するための市民参加型イベントを実施します。
- 性別や年齢など多様な視点を製品・サービスに組み入れ、新たな価値を創出していくジェンダー・イノベーションについて、ワークショップなどを通じて市内に広がっていきます。
- 外国人住民の増加が見込まれることを踏まえ、外国人住民に対する実態調査を実施し、施策検討に活用します。
- 来仙直後の留学生等に仙台のまちを歩いてもらい、外国人から見た本市の良い点・悪い点を明らかにするとともに、サイン表示の実証実験を実施し、まちの改善に向けた検討を行います。



仙台ダイバーシティフェスタ2024の様子



ジェンダー・イノベーションワークショップ

脱炭素・資源循環型社会への取り組み

- 仙台市は**2021年にゼロカーボンシティ宣言**を行い、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策に率先して取り組むため、家庭や事業所の脱炭素化を後押しする取り組みを実施しています。
- 「**脱炭素先行地域**」は、2030年度までに民生部門（家庭部門および業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門等その他の分野も含めて温室効果ガス排出削減を目指す地域を、環境省が2025年度までに少なくとも100カ所選定するものであり、仙台市は、令和5年11月に選定されました。
- 仙台市では、令和6年度～令和12年度（交付金の活用は令和10年度まで）の期間において、2050年ゼロカーボン社会に向けて、「**109万市民の”日常”を脱炭素化**」を掲げ、民間事業者や地域団体、東北大学等と連携しながら、脱炭素都市づくりに一層取り組んでいきます。

“日常”の脱炭素化に向けて

定禅寺通エリア (働く・集う)	■ 省エネ改修・ZEB改修など「業務ビルの脱炭素リノベーション」を実施 また、ビルオーナー・地元事業者向けZEB改修見学会を開催 ■ ゼロカーボンイベントなど脱炭素の「見える化」を促進 ■ 「都市バイオマス資源」を活用し、サステナブルなまちづくりを推進
東部沿岸エリア (学ぶ・楽しむ)	■ EVカーシェアなど、脱炭素モビリティの導入 ■ 太陽光パネルのリユースなど、防災・環境技術の実証フィールドに活用 ■ 観光施設等に再エネを最大限導入
泉パークタウン エリア (暮らす)	■ 太陽光発電等の導入や断熱改修など「住宅の脱炭素リノベーション」を実施 ■ 高度なエネルギーマネジメント（DR/VPP）を既築住区で展開 ■ 地元工務店と連携しリノベーション体験会や断熱スクールを開催
全エリア共通	■ 地産地消型の再エネ電力メニューを新たに創設 ■ 省エネ推進など、市民の行動変容を促進 ■ 市営バス、ごみ収集車、配送トラックなど運輸部門の脱炭素化

本市を象徴する3エリアで取組を展開

本市の取り組み事例



太陽光発電設備設置
(東部沿岸エリア)



泉パークタウン
撮影協力：北洲ハウジング



ゼロカーボンPRイベント
(定禅寺通りエリア)



EVカーシェア
(東部沿岸エリア)

トピックス①青葉山エリア複合施設の整備を進めています！

- 仙台市では、青葉山エリアに仙台と世界をつなぐ“杜の都の新たなシンボル”として、文化芸術の総合拠点としての音楽ホールと、「防災環境都市・仙台」ならではの災害文化の創造拠点としての中心部震災メモリアル拠点を兼ね備えた、「（仮称）国際センター駅北地区複合施設」の令和13年度中の開館を目指して、整備を進めています。

（仮称）国際センター駅北地区複合施設



- 多様な催しが展開され、誰もが気軽に集い、憩えるような「交流ロビー」や「屋外広場」を設け、魅力的な空間づくりを行います。



整備スケジュール

音楽ホール

「楽都仙台」を象徴する文化芸術の総合拠点

- 生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備えます。また、多様な舞台芸術にも対応できる転換可能な客席とする計画です。
- 仙台フィルハーモニー管弦楽団の本拠地として「楽都仙台」をさらに発展させるとともに、誰にでも開かれ、あらゆる人が文化芸術を体験できる拠点となることを目指します。



中心部震災メモリアル拠点

「防災環境都市・仙台」ならではの災害文化の創造拠点

- 東日本大震災の記録や記憶を伝える「展示スペース」や、市民の勉強会やワークショップ活動に適した「交流連携スペース」などを整備します。
- 多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となることを目指します。



トピックス②仙台市役所本庁舎周辺エリアを整備します！

- 昭和40年に完成した現在の仙台市役所本庁舎を解体し、令和10年度から新庁舎を供用開始します。
- 地下鉄南北線勾当台公園駅と新庁舎を結ぶ地下連絡通路を整備します。
- 本庁舎建替事業と連携し、新たなにぎわいや交流を創出するため、近隣エリアの再整備も並行して行います。

新庁舎の建設

工事期間	1期工事高層棟 令和9年度完成、令和10年度供用開始
	2期工事低層部 令和12年度完成
規模	地下2階、地上15階（高さ77.25m）
特長	■ 自然環境に配慮したグリーンビルディングとして、仙台市の「杜の都ブランド」の向上・発信に繋がります。
	■ 東日本大震災の教訓を活かし、災害対応・危機管理の中枢拠点として「防災環境都市」をアピールします。



周辺エリアの賑わいと交流の創出

- 多様なイベントが行われる市民広場と、庁舎低層部等を“ひとつの大きな広場”として一体的に利用することで、さらなる賑わいを創出します。



一体的利活用エリア 位置図



イメージパース

（つなぎ横丁～市民広場/休日のイベント時）

周辺エリアの交通環境の再構築

- 安全で快適な歩行者空間の確保のため、新庁舎の供用開始に合わせ、勾当台通や東二番丁通における歩行者と自転車の通行空間の再構成に向けた検討を進めます。
- 定禅寺通では、ケヤキ並木を保全しながら、地域が策定した基本構想における考え方も踏まえ、歩行者が安全・快適に通行・歩行でき、豊かな時間を過ごすことができる「ひと中心の空間」へ転換し、また、利活用しやすい広い空間・設備が整った多様なアクティビティが生まれる環境づくりのため、再整備を行っています。



再整備後のイメージ図

（東一番町交差点のスクランブル化）



再整備後のイメージ図

（歩道の利活用空間を活用した出店等） 8

The background features a soft, painterly illustration of lush green trees in the foreground and a faint city skyline in the distance. A dark green square with a white number '2' is positioned above the main title.

2

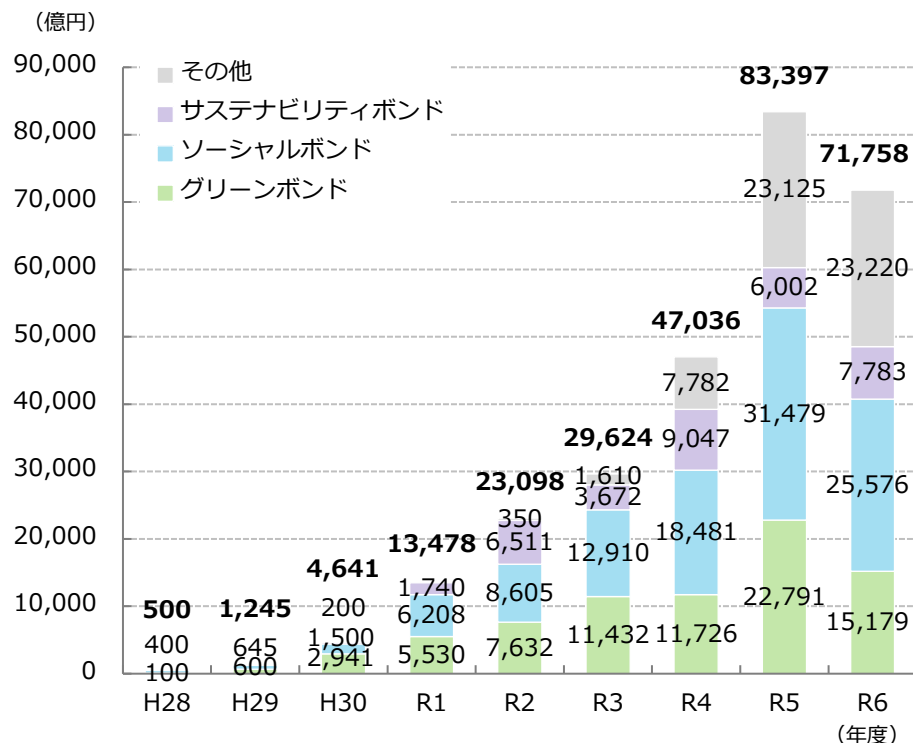
グリーンボンドの発行

グリーンボンドの発行

- 気候変動適応・緩和両面に取り組む施策を行うための資金調達として、令和4年度に地球温暖化対策などの環境施策への活用を目的とした市債である「グリーンボンド」を東北の自治体で初めて発行しました。

SDGs債の状況

- 脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れを背景に、環境改善や社会的課題の解決に寄与する事業に資金使途を限定したSDGs債の発行が高水準で推移。



※ 日本国内で公表されたSDGs債の発行額の推移。単位は億円
 ※ その他はサステナビリティ・リンク・ボンド、トランジションボンドの合計

発行意義

- 仙台市が進める「防災環境都市づくり」を加速させる取り組みであるとともに、脱炭素社会の実現に貢献。
- 本市が脱炭素都市の実現に向けて積極的に取り組む姿勢を示すことで、他自治体や事業者のESG投資に対する機運醸成を図り、事業活動における脱炭素化につなげるなど、持続可能な社会実現に向けた取り組みを促進。
- 投資家は、投資を通じてリターンを得られるとともに、SDGsの達成に貢献することが可能。
- 購入いただいた法人名を本市HP上で公表予定。SDGsの達成にかかる取り組みのアピールに活用可能。

グリーンボンド

環境問題の解決に資するグリーンプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

ソーシャルボンド

社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

サステナビリティボンド

グリーン及びソーシャルの双方のプロジェクトに要する資金の調達を目的とする債券

グリーンボンド充当事業①②

市有施設への再生可能エネルギー設備導入

グリーン適格プロジェクト 分類	再生可能エネルギー
プロジェクト名	市有施設への再生可能エネルギー設備導入
プロジェクト概要	環境負荷の低減を図るための、市有施設への太陽光発電システム整備 ■ 令和7年度の充当先は黒松市民センターを予定
主なレポーティング項目	整備事業実績（導入施設数） CO2排出削減量、発電量



【イメージ】

【太陽光パネル】

市有施設のエネルギー効率改善を含む長寿命化改修

グリーン適格プロジェクト 分類	エネルギー効率
プロジェクト名	市有施設のエネルギー効率改善を含む長寿命化改修
プロジェクト概要	安心して利用できる市有施設を持続的に提供するための 長寿命化・省エネ化を目的とした大規模改修 ■ 令和7年度の充当先は青葉区役所を予定
主なレポーティング項目	更新したLED照明、高効率空調設備の数量 エネルギー消費量の削減量（削減率）



【青葉区役所】

グリーンボンド充当事業③④

ごみ処理施設整備

グリーン適格プロジェクト分類	エネルギー効率
プロジェクト名	ごみ処理施設整備
プロジェクト概要	安定的なごみ処理体制の確保を目的とした、老朽化した基幹的設備の更新 施設の長寿命化、省エネ化及びライフサイクルコストの削減を図る ■ 令和7年度の充当先は松森工場を予定
主なレポート項目	工事進捗状況 CO₂排出削減量（工事終了年度）



【イメージ】

【松森工場】

環境性能の高い市有施設の新築、改修

グリーン適格プロジェクト分類	グリーンビルディング
プロジェクト名	環境性能の高い市有施設の新築、改修
プロジェクト概要	市役所本庁舎をはじめとする環境性能の高い市有施設の新築・改修 ■ 令和7年度の充当先は仙台市役所本庁舎の建替え（令和5年度にCASBEE Sランク、BELS評価 ZEB Ready取得）を予定
主なレポート項目	整備施設名 建物に関する環境認証の取得状況



【イメージ】

【仙台市役所本庁舎】

グリーンボンド充当事業⑤

防災対策

グリーン適格プロジェクト分類	気候変動への適応（豪雨災害等から市民を守るための防災対策等）
プロジェクト名	道路等防災対策、道路整備（排水性・透水性舗装） 河川改修、浸水対策 急傾斜地緑地防災対策
プロジェクト概要	豪雨等近年激甚化する災害時における 土砂災害等のリスクを低減するための道路、河川、公園の防災対策
主なレポート項目	整備箇所名、整備箇所数 整備距離・面積、整備延長

【道路等防災対策】法面对策工事

整備前



整備後



【河川改修】護岸工事

整備前



整備後



令和7年度グリーンボンド発行概要

防災環境都市づくりを加速させるとともに、 持続可能な社会の実現へ

令和7年度も、昨年度に引き続き、法人投資家向けと、個人投資家を対象とした
「杜の都・グリーンボンド」の販売を実施します。

法人投資家向けグリーンボンド	
年限	5年（満期一括償還）
発行総額	50億円
各公債の金額	1,000万円
条件決定日	令和7年9月5日（金）
利率	1.223%
発行日	令和7年9月29日（月）
主幹事	大和証券株式会社（事務）、岡三証券株式会社、みずほ証券株式会社
購入対象先	法人投資家

杜の都・グリーンボンド（個人投資家向けグリーンボンド）	
年限	5年（満期一括償還）
発行総額	10億円
各公債の金額	1万円（一人・一法人につき1,000万円まで）
条件決定日	令和7年9月5日（金）
利率	1.223%
募集期間	令和7年9月8日（月）～9月26日（金） ※完売時点で終了とさせていただきます。
発行日	令和7年9月29日（月）
主幹事	大和証券株式会社（事務）、岡三証券株式会社、みずほ証券株式会社
購入対象先	①仙台市内にお住まいか、お勤めの個人 ②仙台市内に事業所のある法人・団体 ③仙台市を応援する個人・法人等



3

予算・決算の状況、財政指標

令和7年度当初予算の概要及び施策体系

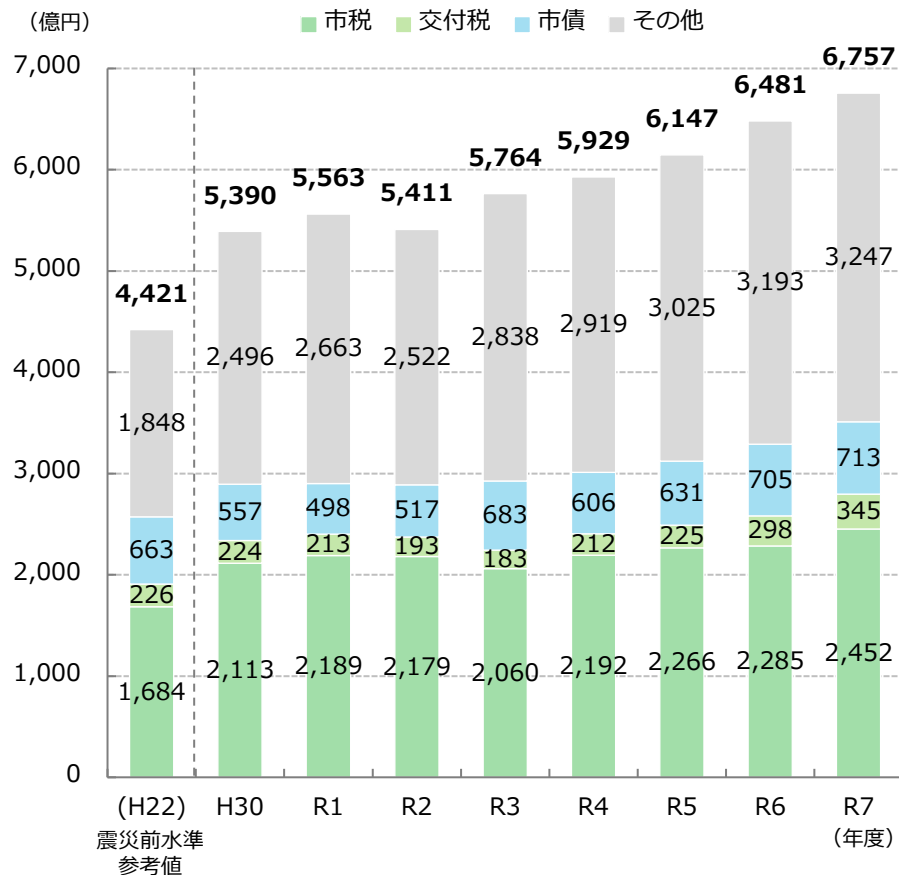
- ダイバーシティの視点を踏まえ、国籍や年齢、性別、障害の有無などに関わらず、誰もが自分らしく輝ける環境を確立していくことにより、国内外から選ばれる「仙台」を実現するために、以下の経費に予算を重点配分しています。

柱1 多様なひとの力が 生きるまち	柱2 こどもたちが 健やかに育つまち	柱3 ひとが輝く舞台となるまち	職員の意識改革と 行政経営
- ダイバーシティ推進の強化 (1億5,028万円) - 男女共同参画の総合的推進 (7億5,874万円) - 障害者保健福祉の推進 (417億3,141万円) - ヘルスケア向上推進 (40億6,733万円) - 医療政策推進 (11億9,057万円) ほか	- こども・若者の安全な環境と成長支援 (557億3,428万円) - 若者支援と切れ目ない子育て支援 (363億3,444万円) - いじめ防止等対策推進 (14億3,091万円) - 学校における働き方改革推進 (16億579万円) - ICT教育推進 (28億9,352万円) - 新たな学生フリーパス制度 (2億4,392万円) ほか	- 勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり (142億2,725万円) - 脱炭素都市づくり等推進 (21億3,642万円) - 資源循環都市づくり推進 (54億742万円) - 青葉山エリアのまちづくり (9億43万円) - 観光客受入環境整備 (3億9,127万円) ほか	- 公共施設マネジメントの推進 (693億556万円) - Full Digitalの市役所 (5億3,923万円) - 職員採用試験の受験者増に向けた取り組み (942万円) - 業務改革推進事業 (3,000万円) ほか

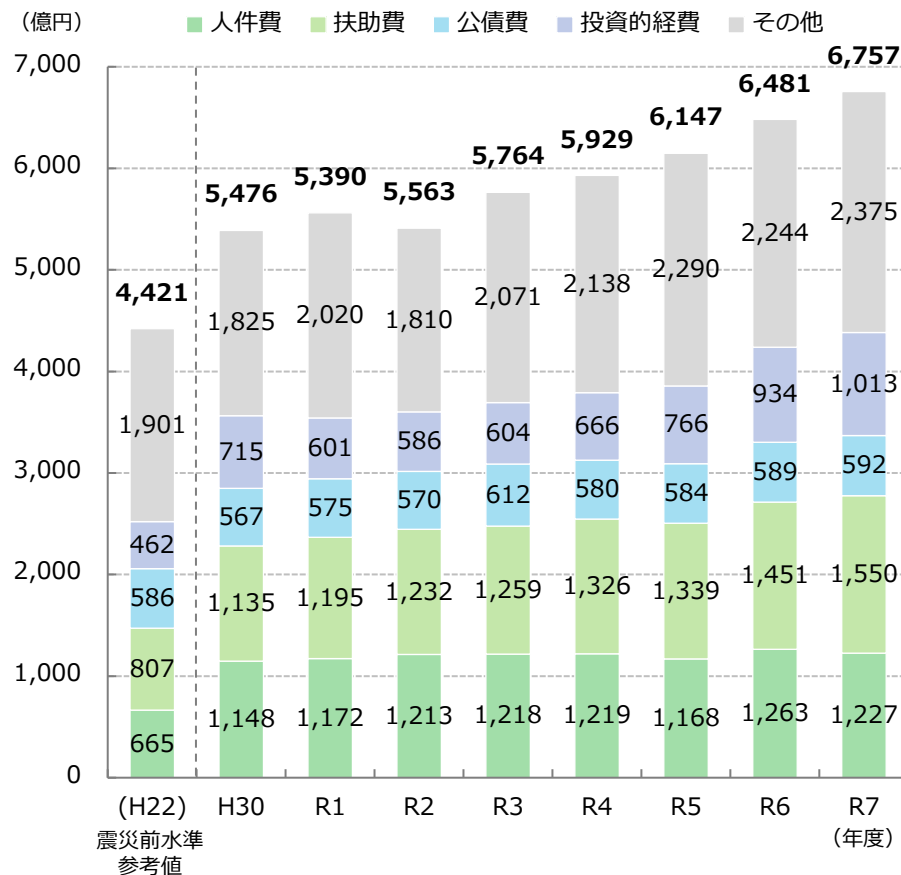
一般会計当初予算の推移

- 令和7年度一般会計当初予算の規模は、保育施設等への給付費や施設整備費の増加などにより、**対前年度比+4.2%（約276億円増）**となりました。
- 市税収入については、定額減税の終了や給与所得の増加による個人市民税の増加などにより、**対前年度比+7.3%（約167億円増）**となりました。

一般会計当初歳入予算



一般会計当初歳出予算（性質別）



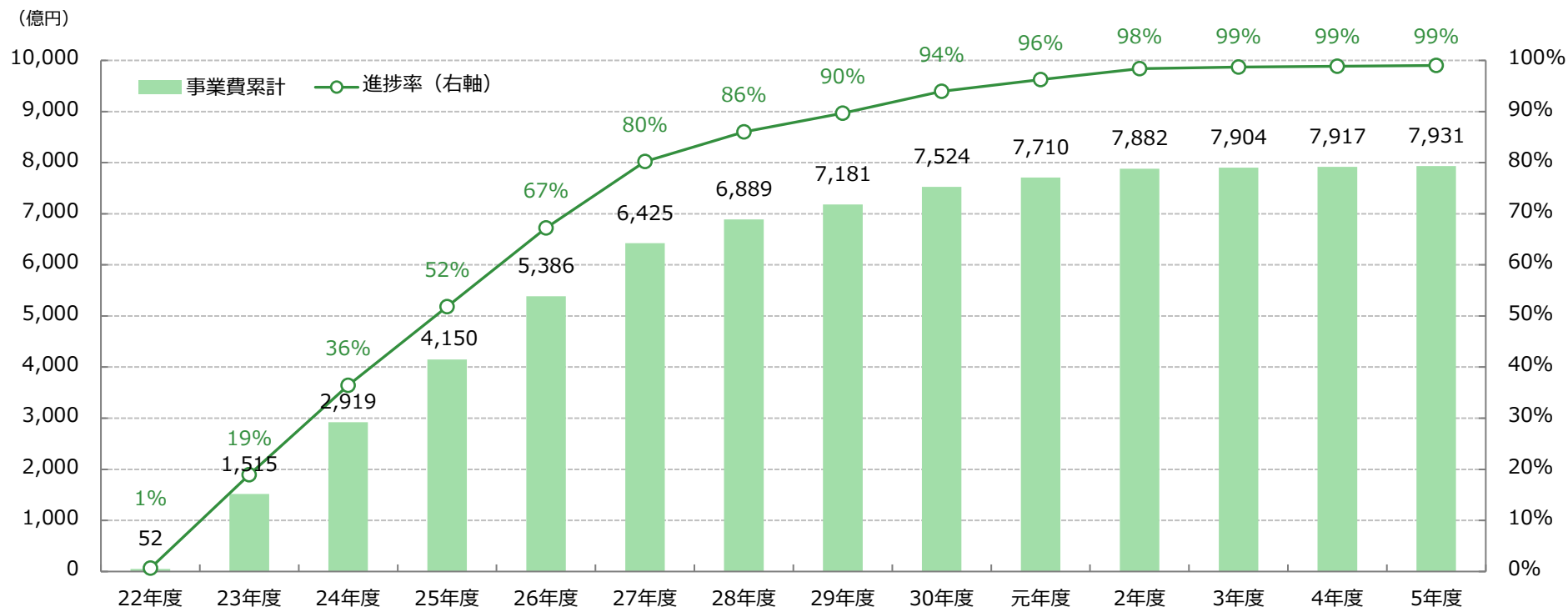
復旧・復興事業の概算事業費

- 仙台市の復旧・復興に係るハード事業は概ね完了しており、概算事業費は約8,010億円と見込まれます。震災からの再生、復興の実現のため、今後も必要な財源の確保に取り組んでいきます。

概算事業費 **約8,010億円**
(令和7年1月現在)

災害救助費関連 約 484億円
公共施設復旧等 約 2,663億円
復興・再生事業 約 4,863億円

復旧・復興事業の進捗状況

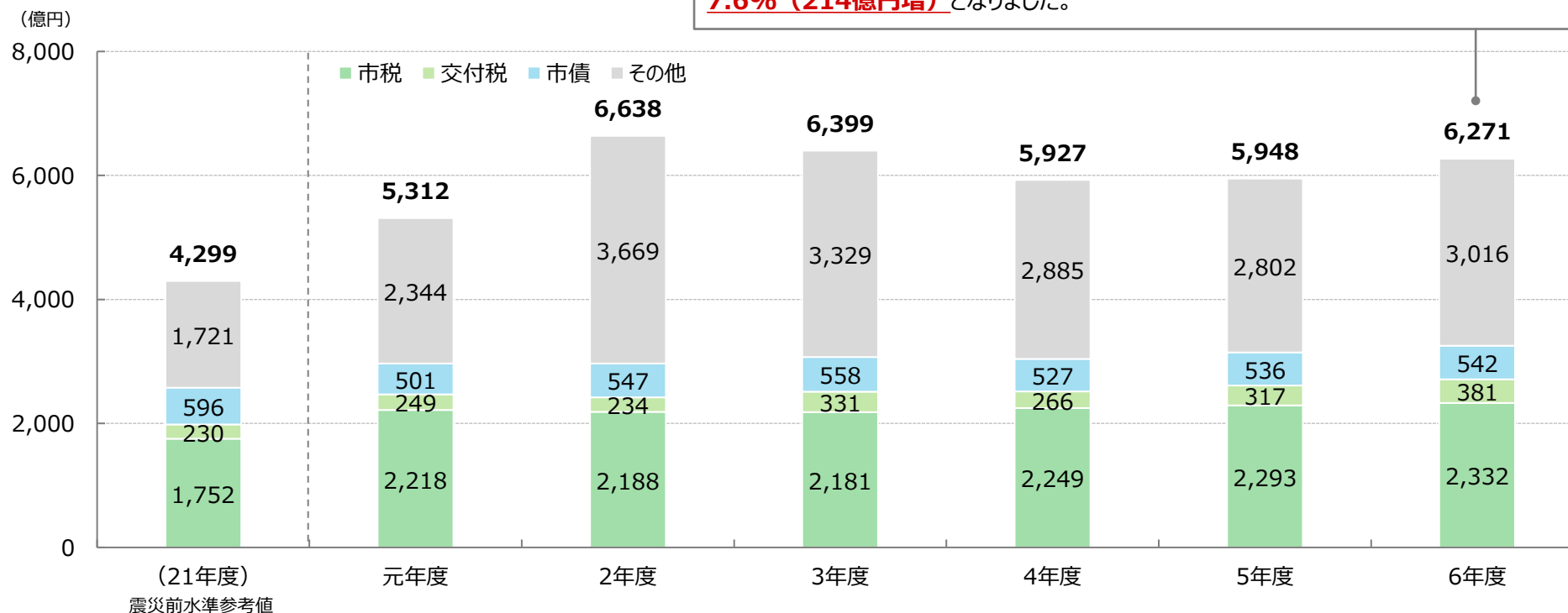


一般会計歳入決算の推移

令和6年度歳入決算の概要

1	市税（構成比37.2%）	土地の評価替えや家屋の新增築等による固定資産税及び都市計画税の増加等により、 対前年度比+1.7%（約39億円増） となりました。
2	地方交付税（同6.1%）	臨時財政対策債振替額の減少による普通交付税の増加等により、 対前年度比+20.0%（約64億円増） となりました。
3	市債（同8.6%）	衛生研究所施設整備債の増加等により、 対前年度比+1.0%（約6億円増） となりました。

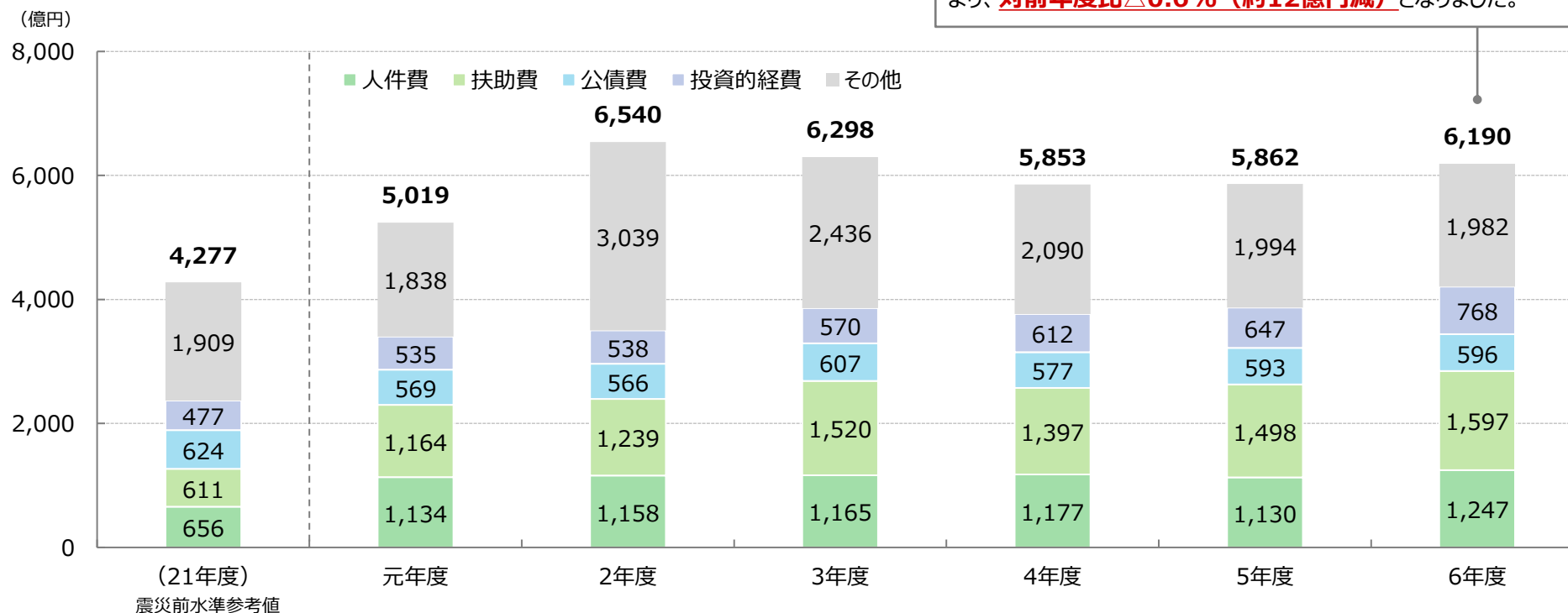
その他については、定額減税による減収補てん特例交付金の増等により、**対前年度比7.6%（214億円増）**となりました。



一般会計歳出決算（性質別）の推移

令和6年度歳出決算の概要

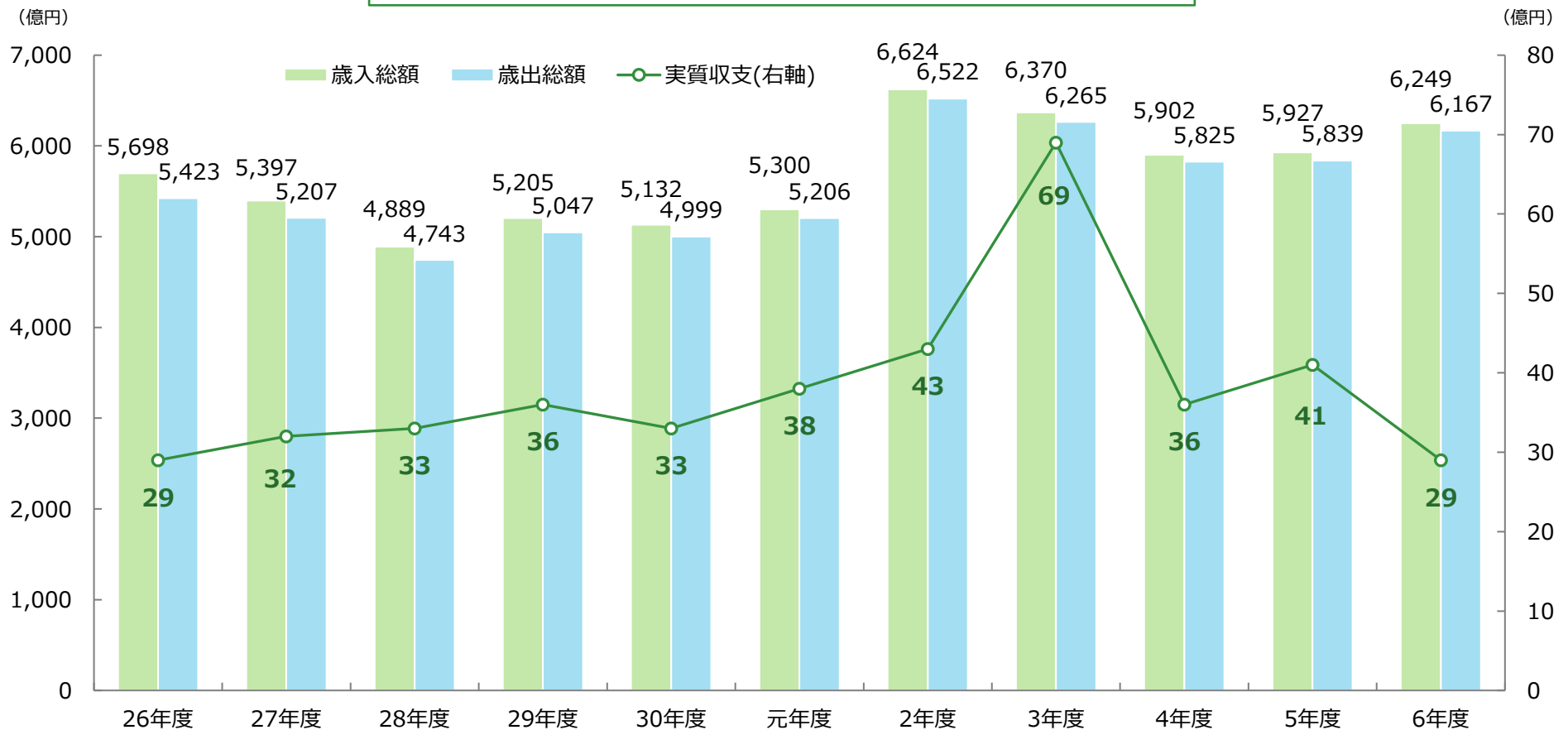
1	義務的経費 (構成比55.5%)	人件費、扶助費及び公債費を合計した義務的経費は、 対前年度比6.8%（約219億円増） となり、増加傾向にあります。人件費は 対前年度比10.3%（約117億円増） 、扶助費は定額減税補足給付金等の増により 対前年度比+6.6%（約99億円増） となっています。
2	投資的経費 (同12.4%)	衛生研究所施設整備の増加等により、 対前年度比+18.8%（約121億円増） となりました。



実質収支の状況（普通会計決算）

- 仙台市の令和6年度の実質収支は約**29億円**の**黒字**となっており、安定した財政運営を実施しています。

実質収支 = 歳入歳出差引額（形式収支） - 翌年度へ繰り越すべき財源

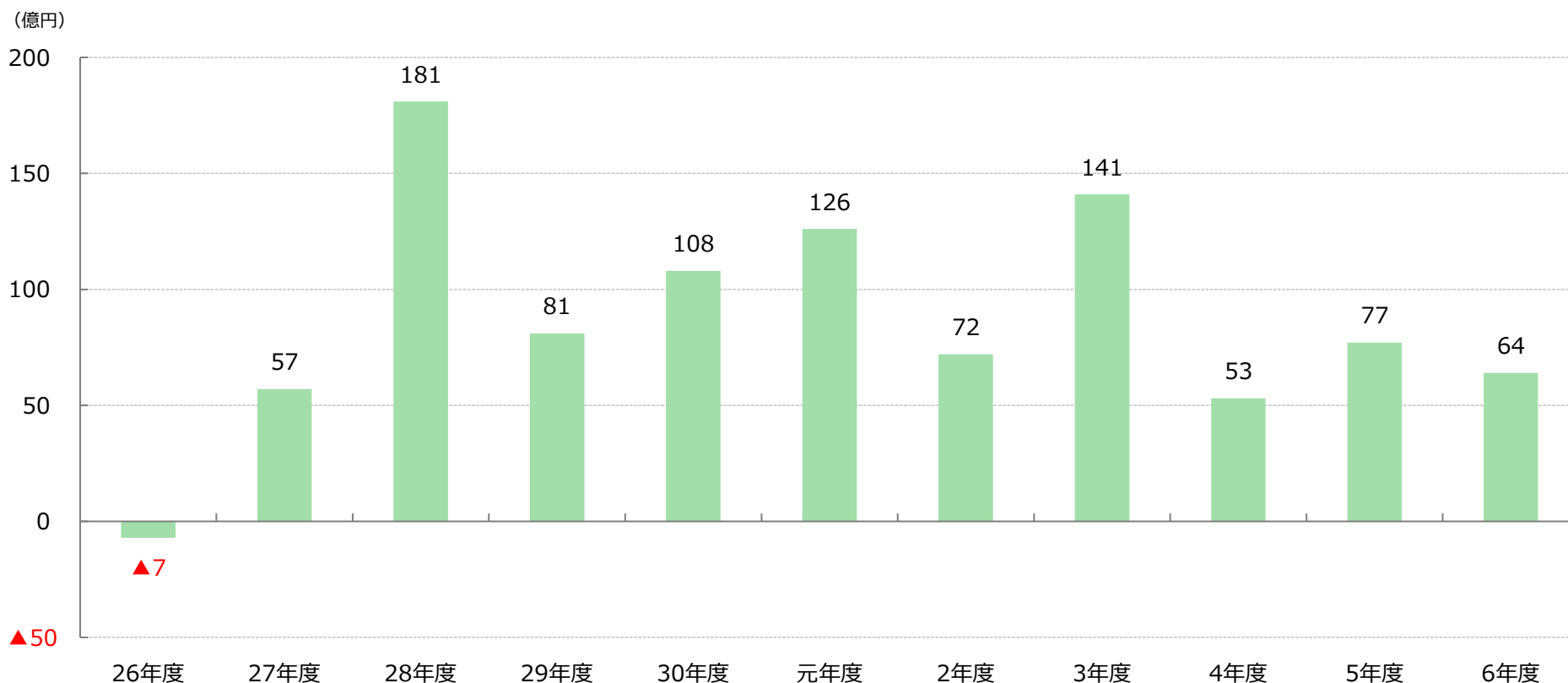


プライマリーバランスの状況（普通会計決算）

- 仙台市の令和6年度のプライマリーバランスは約**64億円の黒字**となっております。東日本大震災後は、一時的に赤字となりましたが、近年は継続的に黒字を確保しています。

プライマリーバランス ※仙台市モデル：公債の利払い費と償還額を除いた歳出と、公債発行収入を除いた歳入のバランスをみる指標

※ 総務省方式改訂モデルでは、繰越事業の歳出が当年度に、その財源である歳入が前年度に計上されるため、前年度からの繰越や翌年度への繰越の規模によってはプライマリーバランスが大きく改善もしくは悪化する傾向を踏まえ、繰越事業に係る歳入を繰越事業を執行する年度の歳入として、プライマリーバランスを算定したもの



令和6年度特別会計決算の概要

- 仙台市では9の特別会計を設けています。いずれも実質収支は均衡又は黒字となっています。

(単位：百万円)

会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C (A-B)	翌年度 繰越財源 D	実質収支 C-D	会計の概要
都市改造	802	802				市施行土地区画整理事業等の実施
国民健康保険	91,504	91,218	286		286	国民健康保険事業の運営
中央卸売市場	3,319	3,318	1	1		中央卸売市場の整備・管理運営
公共用地先行取得	808	808				公共用地の先行取得
公債管理	116,227	116,227				公債償還の管理
母子父子寡婦福祉資金貸付	282	229	53		53	母子世帯等への福祉資金の貸付
新墓園	712	676	36		36	いずみ墓園の整備・管理運営
介護保険	87,825	86,408	1,417		1,417	介護保険事業の運営
後期高齢者医療	15,903	15,812	91		91	後期高齢者医療事業の運営
特別会計合計	317,382	315,498	1,884	1	1,883	

令和6年度企業会計決算の概要

- 仙台市では6の企業会計を設けています。公益性と事業性のバランス確保のため、不断の経営努力を重ねています。

(単位：百万円)

区分			下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計	
収益的収支	収入	A	35,668	9,766	23,069	30,363	45,654	19,598	164,118	
	支出	B	32,949	10,704	23,118	24,779	41,890	21,384	154,824	
	差引	C=A-B	2,719	△938	△49	5,584	3,764	△1,786	9,294	
当年度純損益（税抜）			1,732	△1,119	△473	4,448	1,716	1,788	8,092	
未処理剰余金（△欠損）			4,096	△9,435	△98,613	8,612	6,086	10,091	△79,163	
資本的収支	収入	D	23,293	2,253	8,018	6,064	171	1,838	41,637	
	前・翌年度支出の財源充当額	E								
	支出	F	34,213	3,157	14,733	19,768	6,959	2,487	81,317	
	差引	G=D-E-F	△10,920	△904	△6,715	△13,705	△6,788	△649	△39,681	
補てん財源			13,067	△182	5,083	22,518	15,543	5,577	61,606	
資本費負担緩和債					511				511	
災害復旧事業債 （営業費用充当分）										
経営改善推進事業債				800					800	
他会計長期借入金										
当年度末資金剰余額			M= G+H+I+J+K+L	2,147	△286	△1,121	8,813	8,755	4,928	23,236
（参考）一般会計からの繰出金			6,375	2,698	1,246	1,814	20	2,857	15,010	

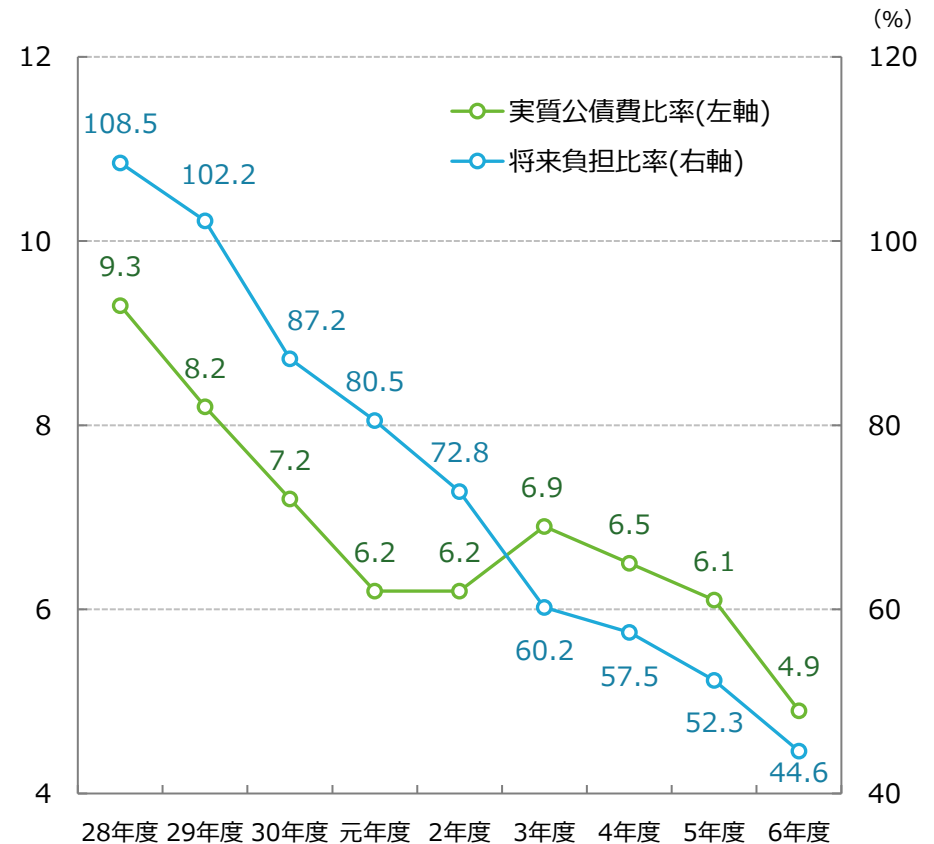
健全化判断比率・資金不足比率

- いずれも早期健全化基準等を十分下回っており、概ね適正な水準にあると言えます。

指標	仙台市	政令指定都市平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	16.25%	30%
実質公債費比率	4.9%	6.6%	25%	35%
将来負担比率	44.6%	63.0%	400%	
公営企業における資金不足比率	自動車運送事業 4.5% (その他はなし)	2都市2事業で資金不足発生	経営健全化基準 20%	

- ※ 仙台市の指標は令和6年度決算（速報値）
 ※ 政令指定都市平均は令和5年度決算に基づくもの
 ※ 早期健全化基準及び財政再生基準は仙台市（政令指定都市）への適用基準

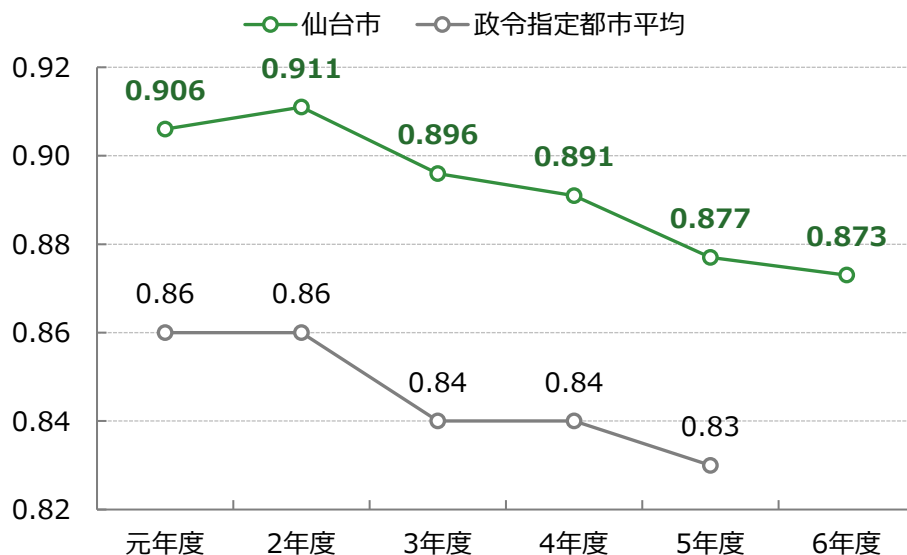
実質公債費比率・将来負担比率



財政力指数・経常収支比率等

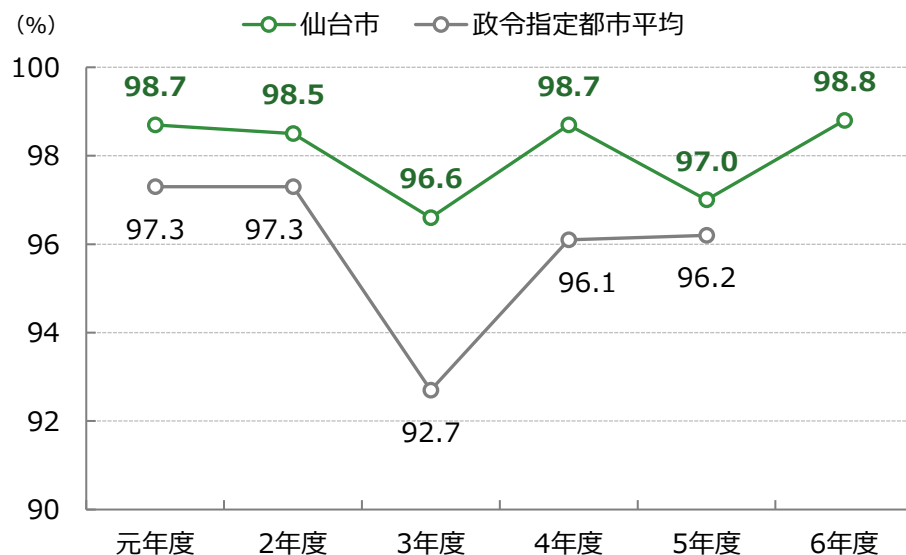
財政力指数

- 地方公共団体の財政力を示す指数の1つで、この指数が高いほど財源に余裕があるといえます。



経常収支比率

- 財政構造の弾力性を示す比率で、この比率が高いほど、政策的な経費に回す余裕がないことを表します。



債務負担行為額

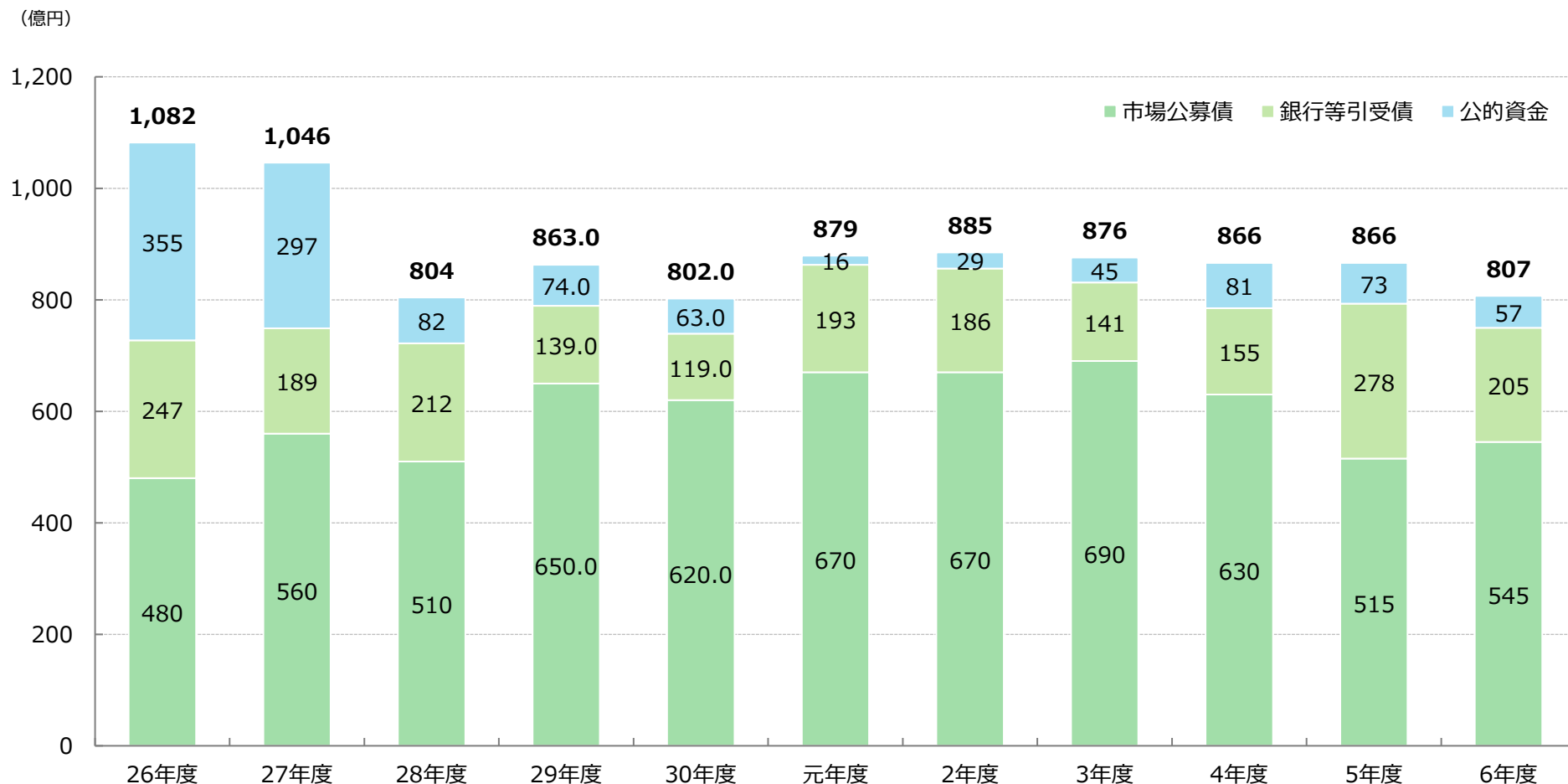
令和6年度末における債務負担行為額（普通会計）は約2,640億円で、前年度末に比べ約620億円増加しています。主な設定項目として、本庁舎建替事業や泉区役所庁舎建替事業、学校大規模改造事業があります。

新地方公会計制度に基づく財務諸表

仙台市では、新地方公会計制度に基づく貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表を作成し、本市HPに随時掲載しています。

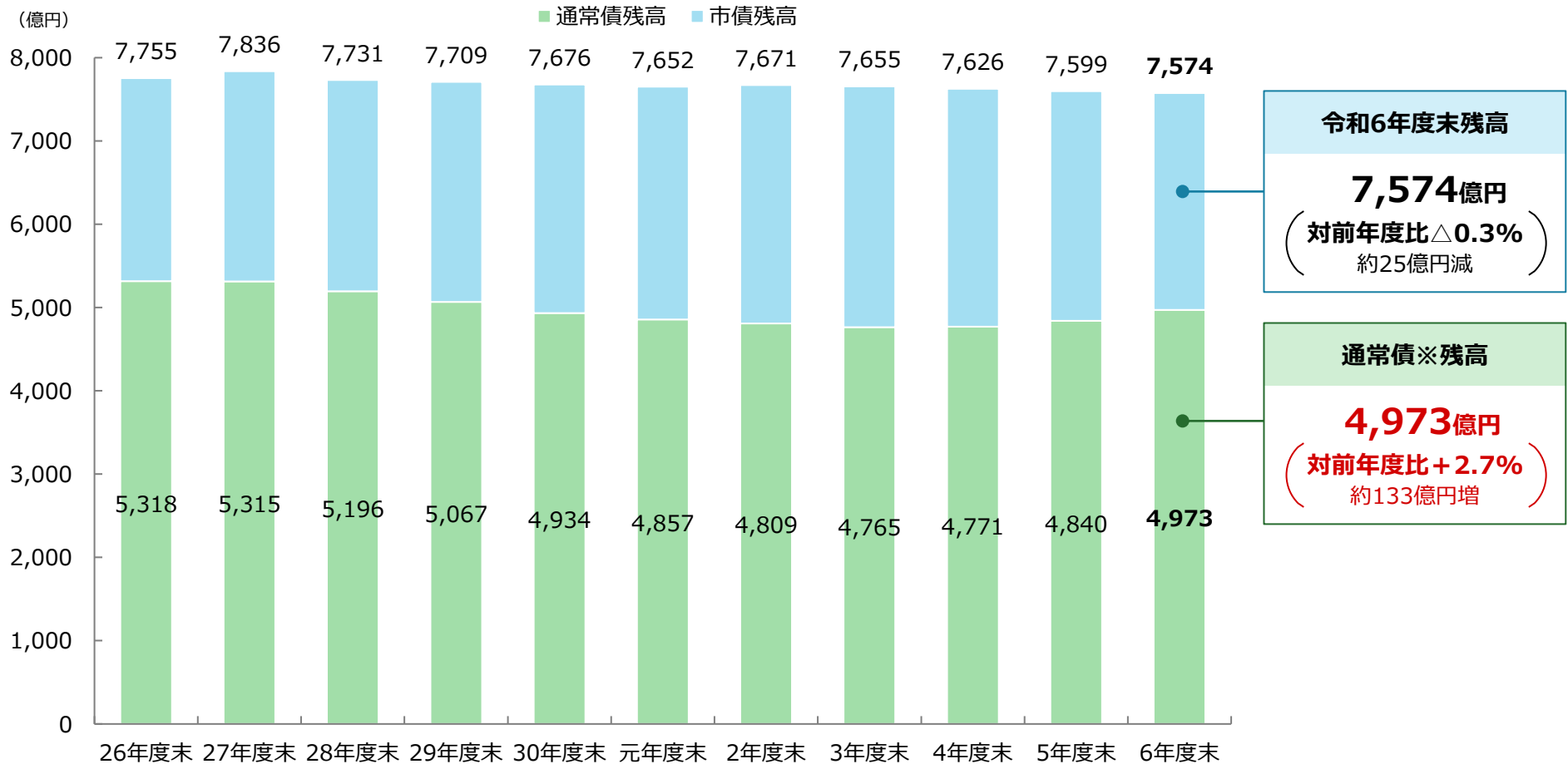
市債発行の状況（一般会計＋特別会計）

- 令和6年度における市債発行額は、臨時財政対策債発行額の減少等により、**対前年度比△6.8%（約59億円減）**となりました。資金調達先は、市場公募債（67.5%）、銀行等引受債（25.4%）、公的資金（7.1%）となっており、市場から多くの資金を調達しています。



普通会計市債残高の推移

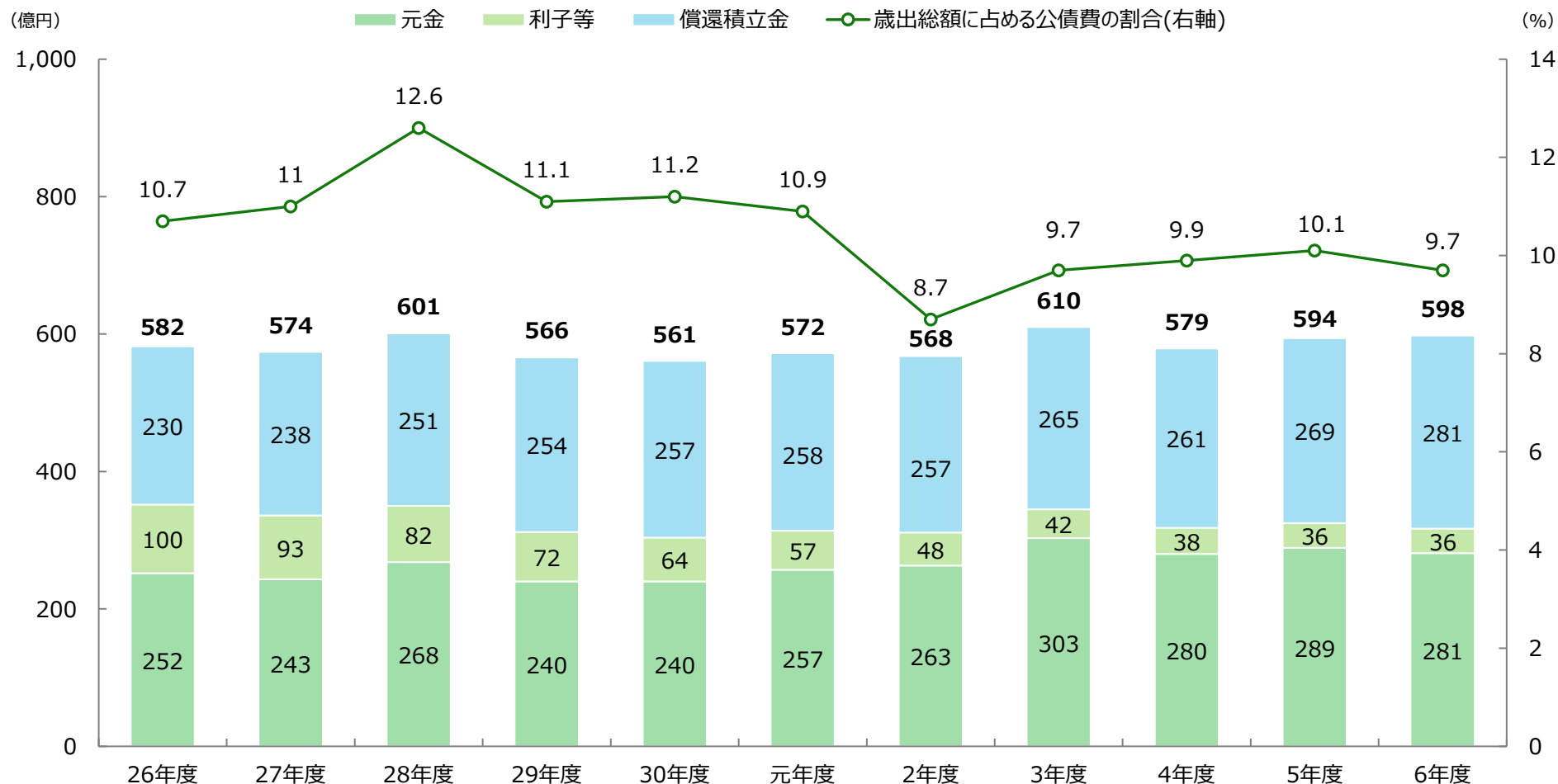
- 仙台市では、必要な公共投資のための市債を発行しつつ、厳選・重点化を行っており、市債残高の適切な管理に努めています。



※ 通常債 … 地方交付税の不足分を補うために発行する臨時財政対策債等を除いた市債のことです

一般会計公債費の推移

- 令和6年度の歳出総額（目的別）に占める公債費の割合は9.7%となっています。
- 将来の臨時財政対策債償還のための積立等により償還積立金が増加し、**対前年度比+0.6%（約4億円増）**となっています。



各種基金の状況

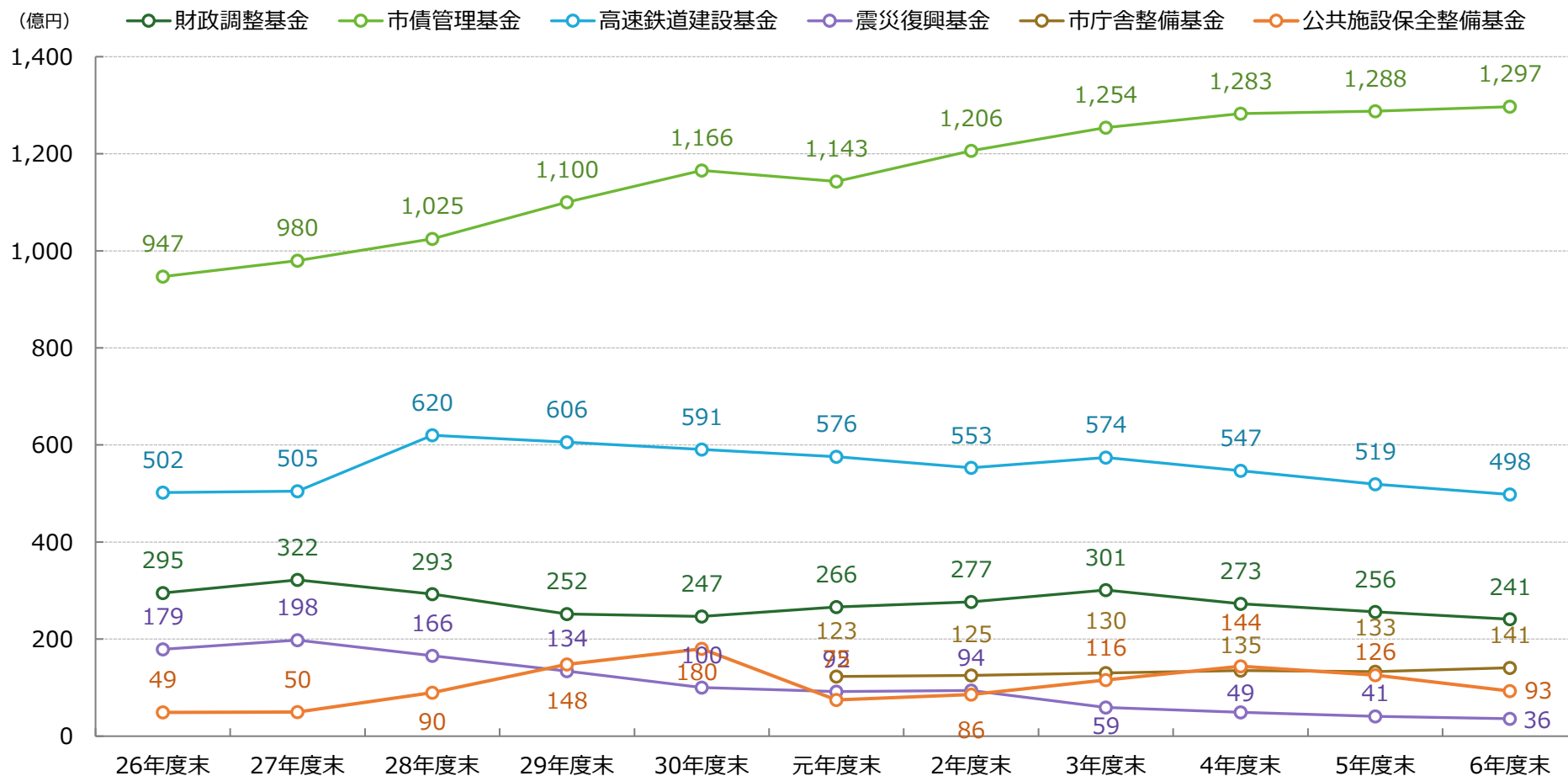
令和6年度末残高

(単位：億円)

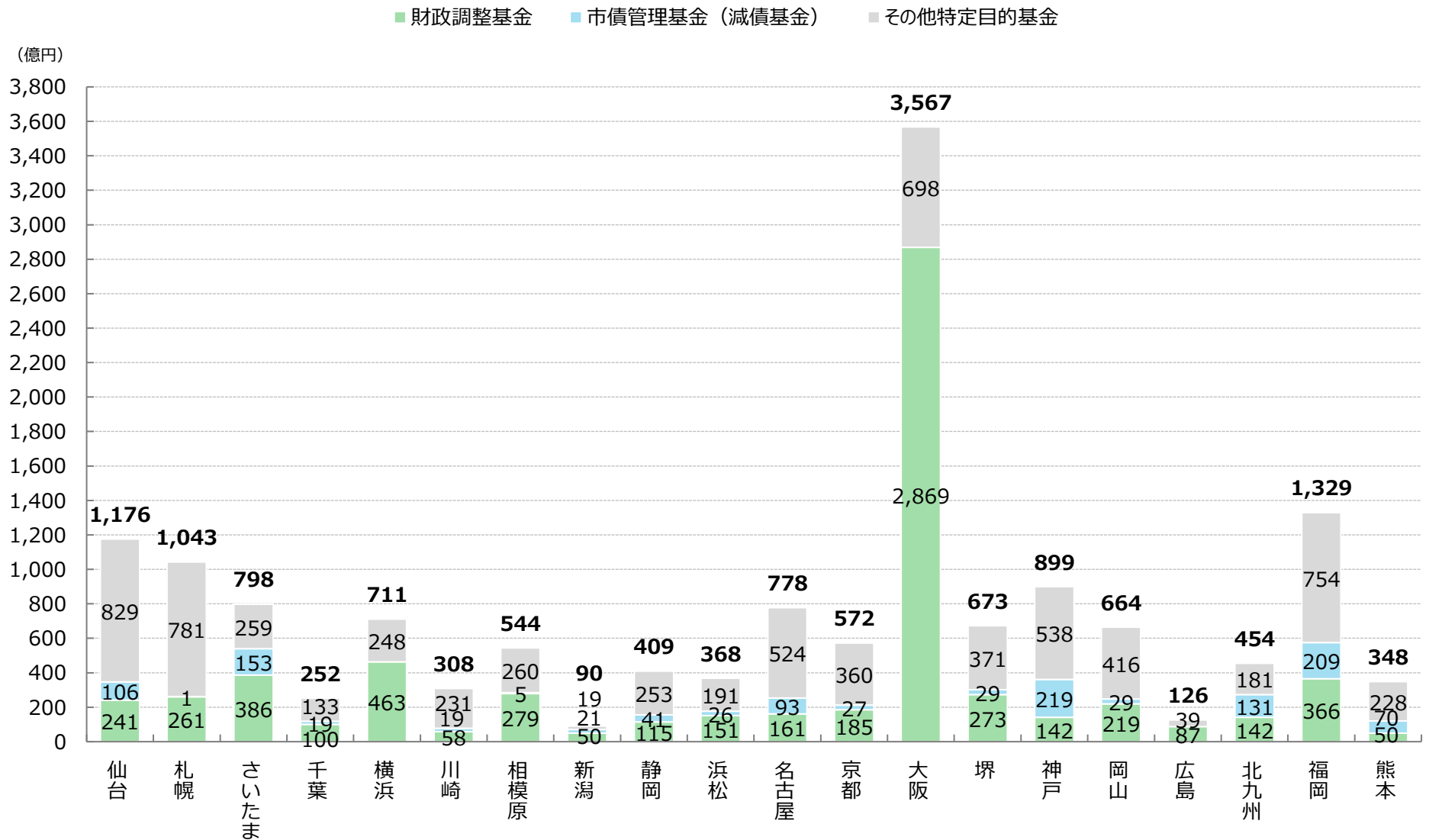
基金名	残高	基金の概要
財政調整基金	241	財源の過不足等を調整するための基金
市債管理基金	1,297	市債の償還の財源を計画的に確保するための基金
高速鉄道建設基金	498	高速鉄道の建設、運営及び関連事業に必要な資金を積み立てるための基金 (法人市民税収入(超過課税分)の2分の1に相当する額を毎年度積立)
百年の杜づくり推進基金	9	市街地や周辺地域での緑の保全及び創出に関する施策の推進のための基金
環境保全基金	3	地域に根ざした環境保全活動を展開するための基金
福祉基金	5	福祉事業の推進を図るための基金
文化振興基金	11	文化施設の整備及び文化活動の推進のための基金
仙台城史跡整備基金	5	仙台城の史跡の保存及び活用を推進するための基金
公共施設保全整備基金	93	公共施設の長寿命化に関する事業の推進及び計画的な更新を図るための基金 (事業所税収入の2分の1に相当する額を毎年度積立)
震災復興基金	36	東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るための市の独自基金
中小企業活性化基金	19	中小企業の活性化に関する事業の総合的な推進を図るための基金
災害救助基金	7	災害救助法の規定により設置する基金
市庁舎整備基金	141	市庁舎の整備を図るための基金
奨学金返還支援基金	2	本市産業を担う人材の確保・人材定着促進を目的として行う奨学金の返還を支援するための基金
職員退職手当基金	0	退職手当の支給に要する経費の財源を確保するための基金
土地開発基金	186	公共用地などをあらかじめ取得するための基金
国民健康保険事業財政調整基金	9	国民健康保険事業の財政調整のための基金
介護保険事業財政調整基金	70	介護保険事業の財政調整のための基金
合計	2,632	

主な基金残高の推移

- 将来の市債償還に備えて「市債管理基金」(減債基金)への着実な積立を行っており、償還財源を着実に確保しています。
- 独自の「高速鉄道建設基金」「公共施設保全整備基金」を設置しています。



基金残高の他都市比較（普通会計）



※ 令和6年度末



4

行財政改革、財政見通し等

仙台市役所経営プラン

- 仙台市では、平成7年度以降、行財政改革を推進する計画を継続的に策定し、職員数の削減や市税等の収納率の向上などを通じて、効率的な運営に取り組んできました。
- 令和4年3月には、人口減少局面の到来、テクノロジーの急激な発展、災害の頻発と激甚化などの社会の変化を踏まえ、「**仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）**」を策定しました。
- この計画においては、「挑戦と進化を続ける市役所をつくる」を仙台市役所の経営理念として掲げ、5つの目指す姿、5つの実施の方向性の下、120の実施項目の着実な推進を図ることとしており、令和4年度～令和8年度における累積の効果見込み額として、概ね122億円を見込んでいます。

実施の方向性			主な取組み
1	歳入を増やす	① 市税等の収入を確保する ② 多様な財源を増やす ③ 受益と負担を適正化する	■ 市税・国民健康保険料等の収入確保 ■ 市有地等市有財産の処分と有効活用の推進 ■ 施設使用料等の見直し
2	歳出を見直す	① 取組みを見直す ② 公共インフラを見直す	■ 敬老乗車証、敬老祝金、児童館、給食施設、公立保育所、ごみ処理施設、資源化施設、老人福祉施設、市営住宅等のあり方の検討
3	業務改革を推進する	① 市民サービスを向上する ② 業務の効率化を推進する ③ 公営企業・外郭団体の経営を改革する	■ 手続きデジタル化の推進 ■ 業務の見える化を通じた市役所BPRの推進 ■ 外郭団体の効果的な事業運営
4	協働を推進する	① 多様な協働を推進する ② 公共施設・空間を効果的に運営する	■ クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進 ■ 指定管理者制度の活用
5	組織変革を推進する	① 多様な人材を活かす ② 多様な働き方を推進する ③ 組織力を高める	■ DX推進に資する人材の育成 ■ 新たな執務環境の検討 ■ 定年延長に伴う人事制度の見直し

仙台市公共施設総合マネジメントプラン

- 仙台市では、平成26年3月に、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を策定しました。（令和6年10月更新）
- 公共施設を取巻く環境を踏まえたうえで、施設の老朽化による更新・維持管理コスト増大、人口構造の変化への対応等、さまざまな課題に的確に対応することにより、安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供することを目的としています。

基本方針	1 大切に長く使う		2 効率的に使う・つくる		3 総合的に進める	
	1	整備拡張型から現有施設活用型への転換	2	施設機能に着目した管理・整備手法や民間活力の導入	3	推進体制の整備

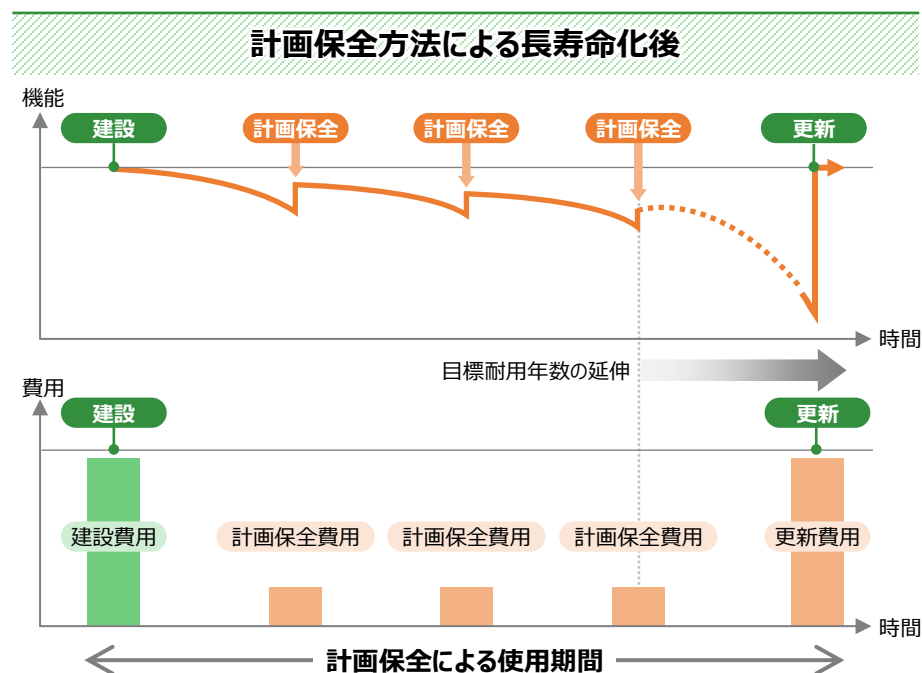
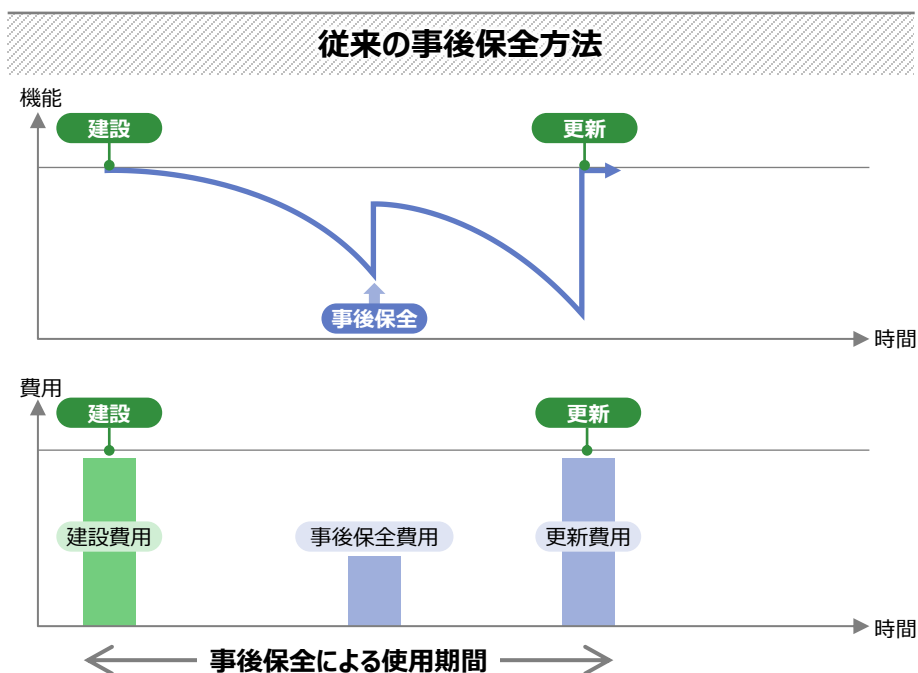
長寿命化のイメージ

事後保全

こわれた後で直す

計画保全

大切に長く使う



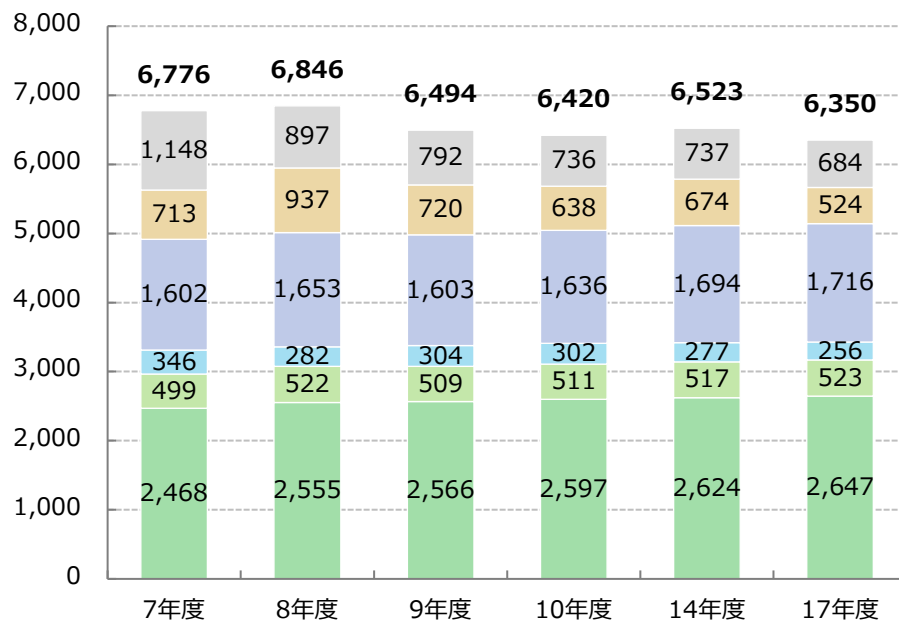
令和7年9月試算 今後の財政見通し（普通会計ベース）

- 令和8年度から令和17年度までの各年度の予算編成における収支差は、年々拡大し235億円から521億円程度となる見通しです。
- 成長促進による税源涵養等自主財源確保に向けた取り組みの強化に加え、事務事業の見直しや効率化の徹底、施設の長寿命化等、歳入歳出両面にわたるあらゆる方策を講じることで、将来にわたり持続可能な財政基盤を確立し、本市の魅力と活力を高める各般の施策を計画的に進めていきます。

歳入の見通し

- 内閣府の経済見通し等を踏まえると、市税収入は増加基調で推移し、主要一般財源全体としても概ね堅調に推移する見通し

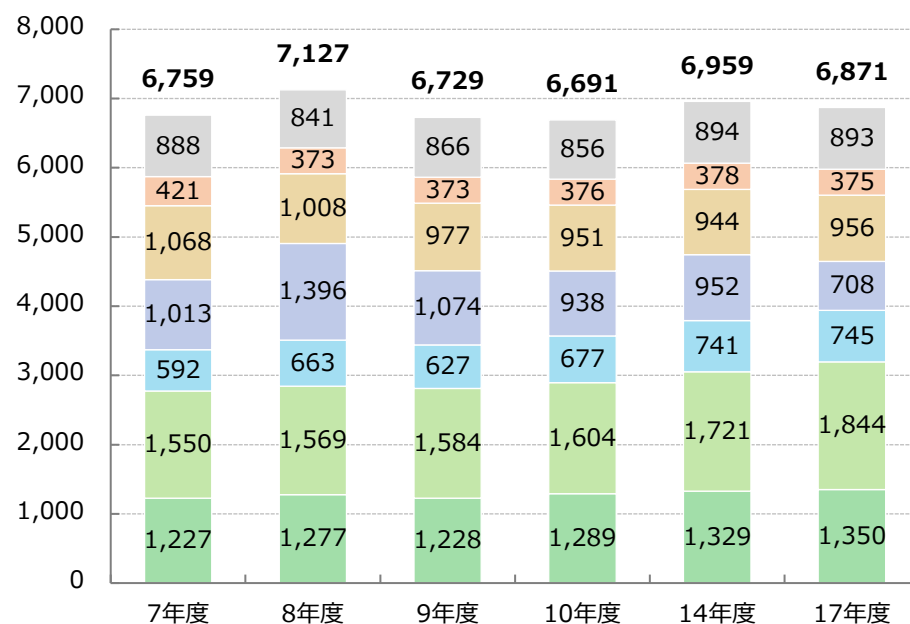
(億円) 市税 贈与税・交付金 地方交付税 国・県支出金 市債 その他



歳出の見通し

- 本格的な少子高齢社会の到来等による社会保障関係費や公共施設の長寿命化対策にかかる経費等の増加も見込まれ、義務的経費は増加し続ける見通し

(億円) 人件費 扶助費 公債費 投資的経費 物件費 補助費等 その他



令和7年度市場公募地方債発行計画

- 5年個別債やグリーンボンド等の発行にあたっては主幹事方式を採用し、幅広い投資家との対話、金利環境に応じたマーケティングを実施し、投資家目線を踏まえた丁寧な起債運営を徹底しています。
- 今年度も6年度に引き続き杜の都・グリーンボンド（個人向けのグリーンボンド）を発行するほか、共同発行グリーンボンドにも参加を予定しています。

（単位：億円）

銘柄	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
共同発行 (10年)	30	30		30	30	30	30	30	30		30	30		300
共同グリーンボンド (10年)													10	10
個別発行 (5年)			100							150				250
個別グリーンボンド (5年)						法人向け 50 個人向け 10								60
合計	30	30	100	30	30	90	30	30	30	150	30	30	10	620

仙台市債 個別発行実績

令和5年度					令和6年度					令和7年度（発行予定含む）				
年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日	年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日	年限	発行額	表面利率	発行価格	発行日
5年	50億円	0.329%	100.00円	R5.4.18	5年	50億円	0.619%	100.00円	R6.6.17	5年	100億円	1.212%	100.00円	R7.6.20
5年	150億円	0.294%	100.00円	R6.1.31	5年	150億円	0.912%	100.00円	R7.1.29	5年	150億円	未定	未定	未定
20年 (定時償還)	30億円	1.128%	100.00円	R5.9.25	20年 (定時償還)	50億円	1.113%	100.00円	R6.4.22	20年 (定時償還)	-	-	-	-
5年 グリーンボンド	40億円	0.329%	100.00円	R5.9.20(法) R5.10.2(個)	5年 グリーンボンド	50億円	0.580%	100.00円	R6.9.30(法) R6.9.30(個)	5年 グリーンボンド	60億円	1.223%	100.00円	R7.9.29(法) R7.9.29(個)

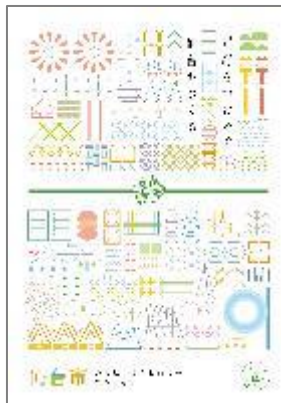
企業版ふるさと納税による寄附を募集しています！

仙台市では、地方創生に関連する事業への活用のため、企業※からの企業版ふるさと納税による寄附を募集しています。ぜひ、ご検討いただき、積極的にご活用ください。

※ 仙台市外に本社がある企業が対象です

寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/kigyoubanhurusato/kigyoubanhurusato.html>



活用する
メリット

- 寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、地方創生を応援できます！
- 社会貢献や企業のPRをはじめとする事業展開につながります！

お問い合わせ先

仙台市まちづくり政策局政策企画部政策企画課

TEL : 022-214-8474

E-mail : mac001620@city.sendai.jp

ふるさと納税による寄附を募集しています！



仙台市ならではの魅力的な返礼品を取り揃え、ふるさと納税による寄附を募集しています。寄附金の使い道として、防災・減災施策の充実や子育て支援など、29の応援寄附メニューを設けています。皆様の温かい応援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

仙台市の寄附に関すること 仙台市財政局財政部財政企画課 TEL: 022-214-8111

税の控除に関すること お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。



寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendai/shi/oenkifu/index.html>





仙台市財政局財政部財政課資金係

住所

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL

022-214-8112

FAX

022-262-6709

HP

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

Mail

zai003010@city.sendai.jp